

がんばってます!



平山 茂さん
JAくま
肥育牛部会長



球磨郡あさぎり町で、肉用牛の肥育をされている平山茂さん（60歳）を取材しました。
平山さんのご家族は、平

出荷者：一安 京子さん
直売所：JAかもとファーマー
ズマーケット夢大地館
紹介JA：JA鹿本



熊本市北区で、なす・きゅうり等の栽培をされている一安京子さんを取材しました。

●第二の人生として就職

山さんのお母様と奥様の3人家族です。

●就農について

幼い頃から、農作業や機械が好きで、家業を継ぐため地元の農業高校へ進学。高2の時、お父様が急逝され、周りの人たちの協力ののもと1年間、学業と肥育の仕事で両立、高校卒業と同時に就職されました。

現在は、奥様と2人、3棟の牛舎（2000平方メートル）で約130頭の肉用牛を肥育されています。
●農業をやっている良かったこと

一安さんは、JA鹿本を定年退職後、既に退職された旦那様と話し合い、第二の人生として就職されました。

「主人の農業がしたい!!という言葉に賛同し、始めた農業は、私にとって『素晴らしい職場』でした。農業をしているのが充実しています」と一安さん。8年経った現在、「ご夫婦でなす・きゅうり等35坪を栽培されています」。

●開店当初から夢大地館へ出荷

「おいしい牛肉を食べることができません。肉が好きなこともありますが、肉には縁があり、食べる機会も多いです。また、若い頃は、研修で大阪へ行く機会があり、貴重な経験もできました。いろんな人との出会いがあり、世の中の動きを見ることもできます。」

●つらかったこと

「父が亡くなり、周りが大人だらけで大人の付き合いが難しく、またオイルショックで借金もあり、全てがわからなかったです。当時のJAの方や周りの方々に見守っ

JAに勤務されている時、夢大地館の前身であるグリーントップかもとがにぎわっており、一安さんも客としてよく買い物をしていました。店舗がもつと大きくなればいいなと思っていました。就農の道へ進む決断をしたとき、タイミング良く夢大地館が開店し、当初より出荷をしています」。

一安さんの家から夢大地館が近く、1日2〜3回は商品を出荷しに足を運ぶそうです。

ていただき、今があります。」

●将来への思い

「系統が良い高値の子牛を買い、育ててみたいです。系統が良いからといって良い牛が育つわけではありませんが、挑戦してみたいです。」

牛の数を増やし、規模拡大を考えた時期もありましたが、人を雇うなど肥育以外のことを考えなくてはならず、自分の肥育が出来なくなるため諦めました。しかし今は、上質な肉の牛を育てるなど、一頭一頭の付加価値を付けて出荷するこ

●直売所について

「農産物の陳列中にお客様から『新鮮でおいしい!』と言ってもらえるとうれしく、作り甲斐があります」と一安さん。夢大地館は各個人が持ち込んだ全品目の安全を確保するため、栽培から販売までの過程を明確にする「トレーサビリティ」等の厳しい制限をクリアしなければ出荷ができません。「安心・安全をモットーに、お客様に自信を持ってお届けしています」。一安さんは消費者目線で、農産物の栽培

とを目標とし、肥育しています。」

●最後にひとこと

「ひとことだけ 歩み行く人生 数あれど」人生に選択肢はたくさんあります。結果として歩んだ人生はひとつ。自分にあつた好きな仕事を見つけ、自分の人生にしてください（さあ、どう生きるか）。

「ちよつと微笑んで死にたい。あー、いい人生、味わいのある人生だったな」と笑顔で語る平山さんでした。

培に取り組み、自信をもって出荷されています。

●今後の抱負

「これからも元気の源でもある夢大地館に関わっていきたくです。主人、夢大地館、お客様等、私に関わるすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです」と一安さん。健康で元気にいられる間にご夫婦で農業を続けていくそうです。

お互いに趣味を持ち、また共通の趣味もあり、ご夫婦で毎日を楽しんでいらつしやる一安さんでした。